

事務事業評価表

平成24年度【23年度事後評価】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目04 福祉実践教室開催事業				
予算区分	款	03	民生費	所属	障害福祉課
	項	01	社会福祉費		
	目	05	身体障害者福祉費	連絡先	0594-24-1171
	細目	001	身体障害者福祉一般事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	⇔ 下欄の対象指標	付記事項
市内の小学校4・5年生 市内小学校		
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇔ 下欄の活動指標	
○地域の障害者が講師となって、小学校4・5年生(1学校隔年実施)を対象に、日常生活等について話をし、自ら障害者理解に向けた啓発活動を行う。 ・車椅子の試乗、車椅子の介助、点字・手話などの体験 ・障害者(児)福祉についてのパンフレットを配布		
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	⇔ 下欄の成果指標	
地元の障害者の方から話を聞いたり、車椅子の介助や点字・手話の実技をすることにより、障害者への理解を深めてもらう。		

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度当初	
対象指標	小学校4・5年生の人数	人	2,910	2,838	2,709		
	市内小学校数	校	28	28	27		
活動指標	実践教室年間延べ開催数	回	26	14	24		
成果指標	実践教室参加者数	人	目標値	2,100	780	2,000	
	実績値		2,135	770	2,005		
	実践教室に参加して障害者への理解を深めた児童の割合	%	目標値	100	100	100	
			実績値	100	100	100	
投入コスト	事業費計			138	245	0	259
	財源内訳	国支出金	千円				
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		138	245		259
	所要人員(正職員・嘱託)		人工	0.30	0.30	0.30	
	トータルコスト		千円	914	1,221	1,146	
単位当たりコスト		円	428	1,586	572		
単位当たりコストの考え方		参加者一人あたりの事業コスト					

進捗評価

(事務事業の成果とその向上余地について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- 計画どおり
- 概ね計画どおり
- 停滞

成果を向上させる余地はあるか。

- ある
- あまりない
- ない

地域の障害者と直接対話することで児童の関心も高く、事前事後の学習への波及効果も大きい。